

津久井地域の一般ごみ収集DX化に関する実証実験をスタート！！
～小田急電鉄株式会社と覚書を締結し、持続可能な社会を目指します～

本市は、小田急電鉄株式会社と令和5年5月31日に覚書を締結し、持続可能な社会の実現（循環型社会の実現）のために、ICTを活用することにより、収集状況の管理・ごみ収集の見える化・収集作業の効率化・働き方改革・柔軟な収集体制の運用など効果的に解決することを目的に一般ごみ収集のDX化に向けた実証実験を開始します。

1 実証実験期間

令和5年6月19日（月）から令和6年3月31日（日）まで

2 対象地域

津久井地域（旧城山町・旧津久井町・旧相模湖町・旧藤野町）

3 検証内容

ICTを活用し、収集状況の管理・ごみ収集の見える化・収集作業の効率化・働き方改革・収集車両のCO₂排出削減効果などを検証する。

4 狙い・効果

- ・効率的な収集ルートによる収集車の走行距離短縮とCO₂排出削減
- ・リアルタイムで収集状況を確認することで「ごみ収集の見える化」
- ・システム提供による働き方改革
- ・中山間地域が抱える不法投棄の監視強化
- ・事務効率の向上やペーパーレス化



©相模原市



システム画面（イメージ）

問合せ先
環境経済局津久井クリーンセンター
042-784-2711（直通）

ICTを活用した収集体制の効果！！

収集車両の位置や収集状況をリアルタイムで把握及び不法投棄監視の強化

★収集状況の管理

各収集車両の位置や収集状況をPC画面でリアルタイムで確認！！

★不法投棄対策強化【津久井クリーンセンターのパトロール車での活用】

各車両が不法投棄を確認した時、撮影・送信でき対応が敏速！！

ごみ収集の見える化・スマート化を実現し、作業効率化やごみの減量・資源化に繋がる

★ごみ収集の見える化【全国初の取組】

リアルタイムな収集車両の位置や各ゴミステーションの収集状況をWEBサイトを通じて市民に公開

★収集作業の効率化やごみの減量化

収集情報のデータ化とデータを活用した収集ルート最適化等による収集の効率化

柔軟な収集体制の運用・燃料費等の削減（CO2削減）・働き方改革にも繋がる

★柔軟な収集体制の運用

データ化された収集情報の活用による業務の効率化（収集車両の削減・燃料費及びCO2削減）

★働き方改革

データ情報による収集を行うことで、未経験者も収集可能。また休暇取得も促進